
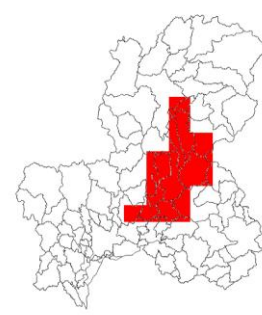


センダイスゲ	<i>Carex lenta</i> D.Don var. <i>sendaica</i> (Franch.) T.Koyama	絶滅危惧I類
		カヤツリグサ科
選定理由	生育地が限定される上に、もともとの個体数が少なく、継続的な減少が予測されるため。	写真(清水英彦) 標本 
形態の特徴	基部の鞘は濃褐色。小穂は全て雄雌性で、雄花部は短く、小穂は1節から1-3個出る。雄鱗片、雌鱗片とも、褐色、鋭頭。果胞は有脈、白色の太い短毛を開出気味に密生し(短毛の量は個体差あり)、嘴はやや短く、口部は2歯、鱗片より長い。花期は9-11月。ナキリスゲよりも全体が小型で、小穂の数も少ない。ナキリスゲとは匍匐枝を出す以外に、形態の違いは殆どない。	
生態的特徴	平地から低山の疎林や草地に生育する多年草。	
分布状況	本州(岩手南部以南)・四国・九州・対馬・南西諸島・伊豆諸島に分布し、岐阜県では県北と県南の東部および中部の一部の地域に分布する。	
減少要因	開発に伴う草地の消失、山林伐採。	
保全対策	山林の保全。昔ながらの草地の維持。	
特記事項		
参考文献	勝山輝男. 2005. 「ネイチャーガイド 日本のスゲ」. 文一総合出版, 東京. 星野卓二・正木智美・西本真理子. 2011. 「日本カヤツリグサ科植物図譜」. 平凡社, 東京.	



文責: 清水英彦